

議会報告

日本共産党交野市会議員団

交野市役所 日本共産党控室私部 1-1-1
Tel: 892-0121(内線301)

かたの民報

No. 1764

2022年8月発行



市会議員
さらがいふみ

星田 7-44-21
☎894-2835



市会議員
藤田 まり

私部 6-17-1-209
☎397-3027



市会議員
北尾 まなぶ

倉治 7-8-7
☎090-3053-8188

6月議会

日本共産党 一般質問

市庁舎…移転新設でなく、現庁舎の耐震改修を

市が検討中の市庁舎整備パターン (5/11 全員協議会資料より)

	庁舎の位置	概算事業費(関係施設含む)
案①	いきいきランド	約85億円
		内訳: 新庁舎 66億、青年の家改修 16億(エレベータ設置含む) 他
案②	いきいきランド (窓口業務をゆうゆうセンターに集約)	約98億円
		内訳: 新庁舎 57億、ゆうゆうセンター改修 22億、青年の家改修 16億 他
案③	現庁舎(本館)を耐震 長寿命化改修	約25億円
		内訳: 現庁舎耐震長寿命化改修 11億 青年の家改修 14億
案④	現庁舎(本館)を耐震 長寿命化改修 (窓口業務をゆうゆうセンターに集約)	約57億円
		内訳: 現庁舎耐震長寿命化改修 18億、 青年の家改修 16億、ゆうゆうセンター改修 22億

【問】現庁舎の耐震診断(昨年実施)の結果は?

【答】現状は耐震基準を満たさず、耐震補強すれば耐震性能の確保は可能との結果。耐震・長寿命化改修で11億円と試算した。



【意見】市が検討中の案のうち、いきいきランドへの移転案(青年の家は改修し継続)は、駅から遠く、約85億~100億円近い総事業費となる。新規建設ありきでなく、現庁舎の耐震・長寿命化改修で整備コストを抑えるべき。

市役所庁舎を「いきいきランドに整備(青年の家を統合)」する案は、事業費見込みの増大により再検討となっています。日本共産党は、移転新設ではなく、現庁舎の耐震改修で整備コストを抑えるべきだと求めました。

「機械化で使いにくくなった!」 自転車駐輪場の改善を!

4月から、駐輪場の管理者が、シルバー人材センターから、「京都市都市整備公社」に変わりました。機械化・無人化で、特にゲート式の駐輪場では、「使いにくくなった」の声が続出しています。日本共産党は、6月議会で改善を求めました。

■ゲート式の入口では、1台ずつしか入れないため、朝の混雑時、何台も並んで順番を待ち、「電車に乗り遅れた」の声が多数。

入口を増やすことや、定期利用と一時利用を分けるなどの改善を求めました。

■星田駅東では、一時利用が満車で利用できないケースが続出。これまでは満車時も、係員が柔軟に対応してきましたが、機械化で一台でも超えようと入れません。

一時利用のスペースを別に増設することを求めました。



■昨年度までは、シルバーのスタッフ92名が働いていましたが、事業者の変更・機械化で、常駐スタッフはいなくなり、巡回の22名のみに。多くの高齢者の雇用が失われました。

利用する市民にとっても「使用方法がわからなくても聞けない」など、市民サービスは明らかに低下しています。引き続き、改善を求めていきます。



河内森駅西駐輪場(ゲート式)

